

非住宅市場の回復により、魅せる間仕切り需要に応える  
「サイドパイプカーテン」をリニューアル！  
操作感に優れた3タイプを新たにラインナップ

立川ブラインド工業株式会社(本社:東京都港区三田、資本金:44億7,500万円、代表取締役社長:池崎久也)は、店舗のディスプレイスペースを魅せながら、閉店後の防犯性を高める「サイドパイプカーテン」のデザインと機能性をリニューアルし、2024年8月1日(木)に発売いたします。



サイドパイプカーテン スクエアパネル

サイドパイプカーテンとは、アルミ製のパイプを連結させた横引きのパイプシャッターです。シャッターにはさまざまな種類がありますが、パイプシャッターは一定の防犯対策を行いながらも、魅せる間仕切りとして非住宅市場において需要が高まっています。

#### ■市場背景とサイドパイプカーテンの需要

コロナ禍からの景気回復に伴い、駅ビルの再開発が活発化し、複合ビルの建設が進んでいます。この影響で、店舗では営業時間外に使用する間仕切りの需要が増加しています。また、2024年5月には訪日外国人観光客は3カ月連続で300万人を超え、インバウンド需要の急速な回復により、ホテル市場も拡大しています。特に高級ブランドショップが出店するラグジュアリーホテルや、売店を併設する医療・介護施設での間仕切りが求められています。

#### ■リニューアルしたサイドパイプカーテンの特長

##### ①閉店後の景観を美しく保ちながら、防犯対策を強化

商品を展示したまま美しく戸締りができる「サイドパイプカーテン」。コンパクトかつスリムで、駅ビルや地下街の店舗に最適な間仕切りです。

##### ②インテリアに調和する、豊富なカラーバリエーション

シルバーに加え、新たに「ホワイト」と「ブラック」をラインナップ。商業施設のインテリアやデザインに合わせて、3色からお選びいただけます。

##### ③コンパクトな納まりとカーブ対応で、あらゆるシーンに

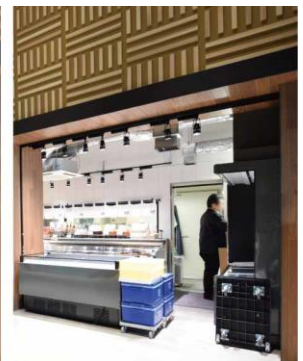
ジャバラ状に折りたたみ、コンパクトに格納できます。S字や曲線のカーブ納まりも可能で、さまざまなシーンに対応します。

##### ④下レールがなく安心。上レールは溶接不要の簡易施工

下レールがないバリアフリー設計で、どなたにも安心。また、上レールはビスで簡単に施工できます。



全閉時



格納時

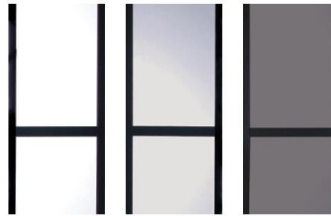
## ■製品ラインナップ

### 「サイドパイプカーテン スクエアパネル」

ワイドな200mm間隔のスクエアパネル。格子間にパネルが入っており、大切なショップをしっかりとガードします。パネルカラーは「クリア」「フロスト調」「スモーク」の3種類をラインナップ。閉店後もショップの雰囲気やディスプレイの魅力を伝えます。



クリア フロスト調 スモーク



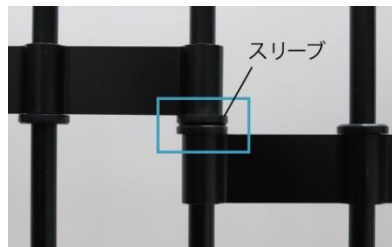
インテリアやシーンに合わせて  
選べるパネル

サイドパイプカーテン  
スクエアパネル  
動画はこちら



### 「サイドパイプカーテン」

70mm間隔でパイプが並ぶデザインで、軽量でスムーズに動きます。開閉時のパイプ同士の接触音を抑える静音設計により、快適な開け閉めが可能です。



スリーブがパイプどうしの接触を  
抑える静音設計

サイドパイプカーテン  
動画はこちら



### 「サイドパイプカーテン スリム」

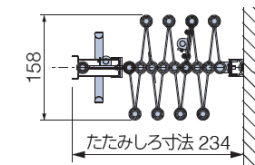
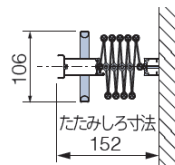
パイプ間隔86mm・パイプ径10mmのスリムなデザインで、軽量でスムーズな動きを実現。最もコンパクトに格納できる設計で、狭いスペースにも対応できます。



格納したときの寸法比較 (製品幅883mmの場合) [単位:mm]

サイドパイプカーテン スリム

サイドパイプカーテン



サイドパイプカーテン スリムのたたみしろ寸法は  
サイドパイプカーテンより約35%小さくなります。

[価格] 別途積算となります。

詳しくはこちら

<タチカワブラインド ホームページ サイドパイプカーテン>

URL <https://www.blind.co.jp/products/pickup/details/169>